学齢期の発達障害の子どもへの心理支援
−脳と心の観点から、困難さのメカニズムを紐解く−

＊当財団（講座）は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、（公財）日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会（ワークショップ）」の承認を受けております。<承認期間：2022 年 7 月 2 日～2027 年 7 月 1 日 承認番号：20210392>

期　　日：2025 年 12 月 6 日（土）
受講対象：教育・医療・相談・福祉・保育の各機関・現場で、子どもに関わる専門家および興味のある方々、臨床心理士、公認心理師等
定　　員：80 名（定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください。先着順となります。）
受 講 料：8,500 円（税込み）
主　　催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団　TEL 03-3986-7021
会　　場：明治安田こころの健康財団 講義室　※詳細地図は受講証に添付いたします
東京都豊島区高田3-19-10
JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

★★★☆★ *企画講師* ★★★☆★

相模女子大学人間社会学部人間心理学科 教授　日戸 由刈 先生

今日、小中学校では通常の学級において特別な配慮を要する子どもの数は 10 人にひとり程度と言われます。自閉スペクトラム症や注意欠如・多動症の特性を持つがゆえに、集団活動や仲間関係への参加に困難を抱え、心に傷をつくり、人を信じられなくなる子どもが少なくありません。支援者が働きかけても、心を閉ざし、自分の内面を打ち明けようとしない子どもを目の前にして、私たちは何ができるでしょう。

この講義では、脳と心の観点から子どもの困難さのメカニズムを紐解くことから始めます。脳・身体の発達が専門の松本先生、認知科学が専門の米田先生、青年期のキャリア発達支援が専門の日戸のオムニバスにより、「遊びとレジリエンス」「感情のコントロールと相談」「自己理解とセルフアドボカシー」をキーワードに、困難さのメカニズムや対応策の解説、および明日から使える実践上の工夫の紹介をいたします。

【企画講師：日戸 由刈】

【プログラム】

時　間	テ ー マ	講師（敬称略）
10:30～12:10	遊びを通して、レジリエンス（折れない心）を高める	横浜市北部地域療育センター 作業療法士　松本 政悦
12:10～13:10	昼　食（各自おとりください）	
13:10～14:50	感情をコントロールし、相談力を高める	青山学院大学教育人間科学部 教育学科 教授　米田 英嗣
15:05～16:45	自己理解を育み、セルフアドボガシー力を高める	相模女子大学人間社会学部 人間心理学科 教授　日戸 由刈

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。